

氏名	野 中 研 一		
授与した学位	博	士	
専攻分野の名称	医	学	
学位授与番号	博 乙 第 2749 号		
学位授与の日付	平成 6 年 6 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)		
学位論文題目	急性白血病における血漿cyclic nucleotides動態に関する研究		
論文審査委員	教授 太田 善介	教授 辻 孝夫	教授 岡田 茂

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

急性白血病における血漿cyclic nucleotides値について検討した。

血漿c-GMP値、血漿c-AMP/c-GMP比は病期を反映し有意の変動を示し、また、ANL例では血漿c-GMP値と末梢白血球数・末梢白血病細胞数との間に正の相関が、血漿c-AMP/c-GMP比と末梢白血球数・末梢白血病細胞百分率・末梢白血病細胞数との間に負の相関が認められ、生体内における白血病細胞volumeを反映するものと考えられた。血漿c-AMP/c-GMPと白血病幹細胞コロニー最高値との間に負の相関が認められ、その供給源としての白血病幹細胞動態をも反映する一つの指標になり得るものと考えられた。

低形成型白血病・MDSでは、血漿c-GMP値、血漿c-AMP/c-GMP値ともに正常範囲内であり、これら病態における細胞増殖動態を反映したものと考えられた。白血病化したMDS例では、定型的白血病と同様のパターンを示し、白血病幹細胞の異常増殖を示したものと考えられた。

以上の成績によりc-GMP値、血漿c-AMP/c-GMP値は白血病病態の推移・再燃予知といった点で一つの生化学的マーカーとなり得るものと考えた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は急性白血病における血漿cyclic nucleotides値について検討したものである。血漿c-GMP値、血漿c-AMP/c-GMP比は病期を反映し有意の変動を示した。したがってこれらの値は白血病病態の推移・再燃予知といった点で一つの生化学的マーカーとなり得

るという結論を得た。これは価値ある業績であり、よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。